

塩竈市教育大綱策定に向けて

第5次塩竈市長期総合計画 施策体系・目次

I 子どもの夢を育むまちづくり

第1節 生きる力を育む教育の充実

・学力の向上	... 1 P
・豊かな心を育む教育の充実	... 3 P
・健やかな体の育成の推進	... 4 P
・一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実	... 5 P
・食育の推進	... 6 P
・歴史、文化の尊重と国際理解を育む教育の推進	... 7 P
・生命の大切さを学ぶ教育の推進	... 8 P
・特色ある学校づくり	... 8 P

第2節 学習環境の充実

・学校施設の整備・充実	... 9 P
・学習設備の充実	...10 P

第3節 地域社会との連携強化

・地域との協力体制の構築	...11 P
・学校情報提供の双方向性の確立	...11 P

-
- ① 点線の囲い部分の5つの区分に沿って皆さんから意見をいただきます。
 - ② 各テーマの課題、問題について、意見をいただきます。なお、今後の方針についてもお願いします。

第1節 生きる力を育む教育の充実

(1) 学力の向上

- ① 教員補助者を配置して小人数指導を進め、基礎学力の定着に取り組みます。またサマースクールや浦戸合宿に取り組みます。
- ② 学ぶ意欲と学んだことを活用して自ら考える力を育み、幅広い学力の向上に取り組みます。
- ③ 児童生徒の実態に応じて、家庭と協力しながら基本的な生活習慣、学習習慣の定着に取り組みます。
- ④ 教師の資質・指導力向上のため、研修や校内研究を推進します。

〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

○学力の状況

- ・平成26年度全国学力・学習状況調査結果から、小学校においては、国語Aと算数Aは全国平均とほぼ同程度で、それ以外は全国平均を下回っている。
- ・中学校においては、全科目が全国平均を下回っている。

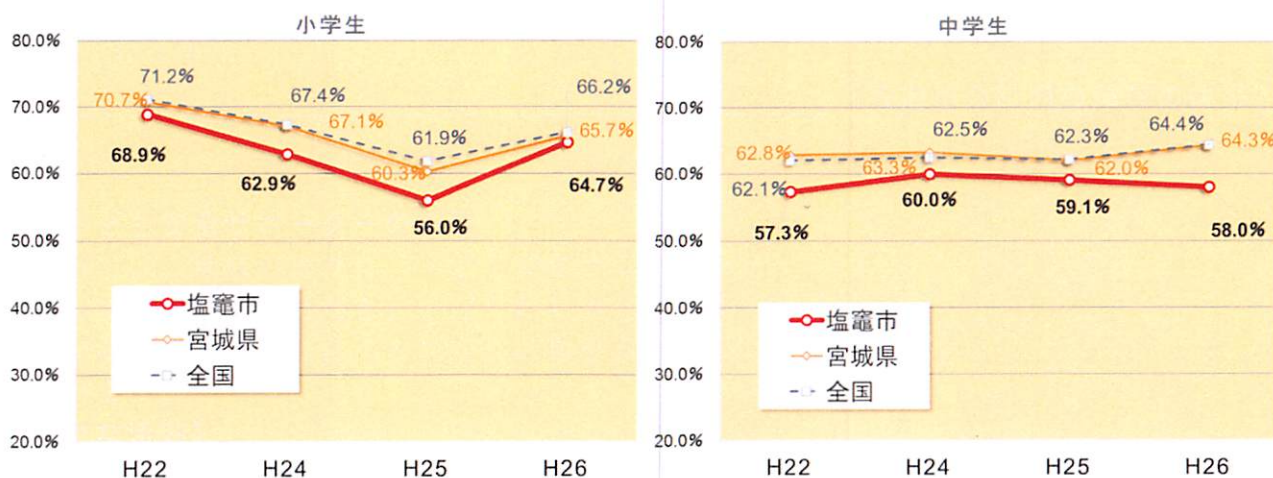
〔平成26年度 平均正答率〕

区分	国語 A	国語 B	算数 (数学) A	算数 (数学) B
小学校 (小6)	72.3 (△0.6)	52.3 (△3.2)	77.8 (△0.3)	56.2 (△2.0)
中学校 (中3)	76.3 (△3.1)	46.6 (△4.4)	58.2 (△9.2)	51.0 (△8.8)

() 内は、全国平均との差

【長期総合計画で示された今後の方向性】⇒ 全国・県平均を5ポイント以上上回る。

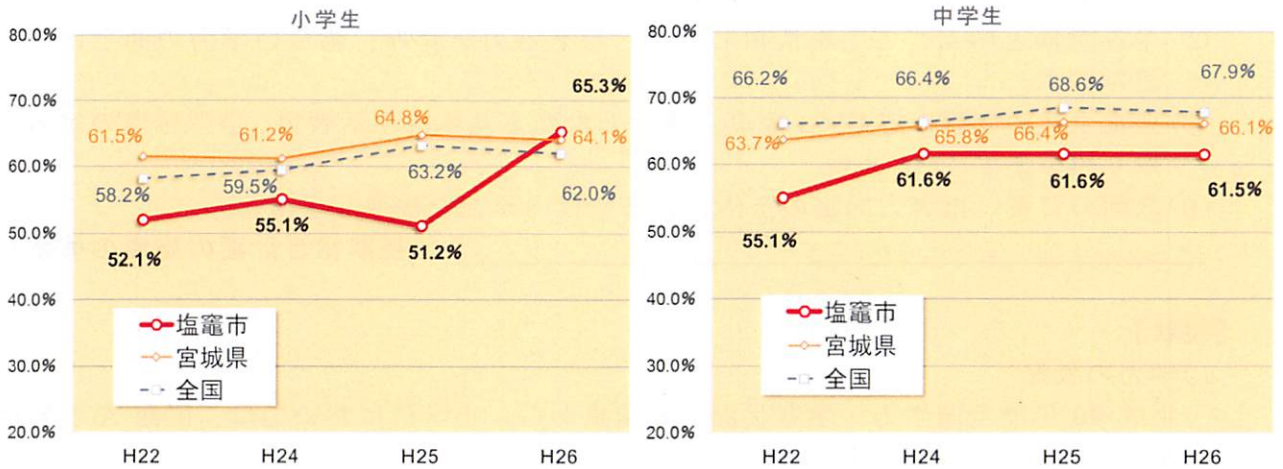
〔全国学力・学習状況調査の4科目の平均正答率の推移〕



○家庭学習の状況

- ・1時間以上家庭学習をしている生徒(中学生)の割合では、全国・県を下回る傾向にある。

〔1時間以上家庭学習をしている児童生徒(小6・中3)の割合の推移〕



【長期総合計画で示された今後の方向性】⇒ 県平均を上回る。

【議論のポイント】

「授業づくり」、「学ぶ意欲と姿勢づくり」、「家庭における学習環境づくり」の視点から議論。

(2) 豊かな心を育む教育の充実

- ① 学校や社会生活における全ての場面で、人を思いやる心を育む教育を推進します。
- ② 小中学校における宿泊学習などの体験学習をはじめ、ボランティア活動や農業・漁業・社会・自然体験（浦戸諸島など）を生かした心の教育に努めます。
- ③ いじめ、不登校などの児童生徒に適切に対応するため、スクールカウンセラーを学校に配置するなど相談体制を充実させ、学校・家庭・相談機関が一体となって取り組みます。また、けやき教室との連携を図ります。

〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

○不登校児童生徒の状況

- ・小、中学校における不登校児童生徒数は、平成24年度をピークに減少傾向にある。
- ・不登校割合は全国・県を大幅に上回っている。

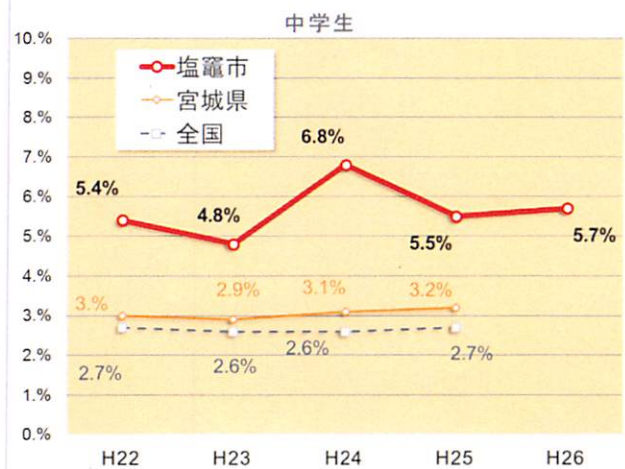
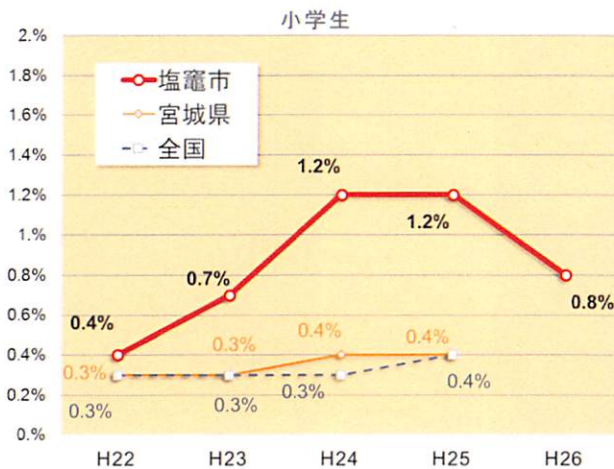
〔不登校児童生徒数等の推移〕

(単位：人)

年度	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	10	18	31	31	20
中学校	82	73	98	80	80

※塩竈市教育委員会調べ

〔不登校（児童生徒）の割合の推移〕



(出典) 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査 (文部科学省)

〔長期総合計画で示された今後の方向性〕⇒関係機関との連携を密にしながら減らしていく。

○平成 27 年度の取組

- ・月例報告による児童生徒状況の把握
- ・学校生活アンケートによるいじめの把握
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
- ・指導主事とスクールソーシャルワーカーの学校訪問による各校の対応確認
- ・青少年相談センターのカウンセラー相談及び職員による電話相談
- ・塩竈市けやき教室の設置
- ・不登校対策連絡会議の設置

【議論のポイント】

不登校児童生徒への対応として、考えられる原因と学校、家庭での役割について議論。

(3) 健やかな体の育成の推進

- ① 体育の授業、部活動、休み時間を通じて、児童生徒の体力・運動能力の増進に取り組めます。
- ② 心身ともに健康な児童生徒の育成を図るため、健康管理や相談・指導体制の充実に取り組めます。

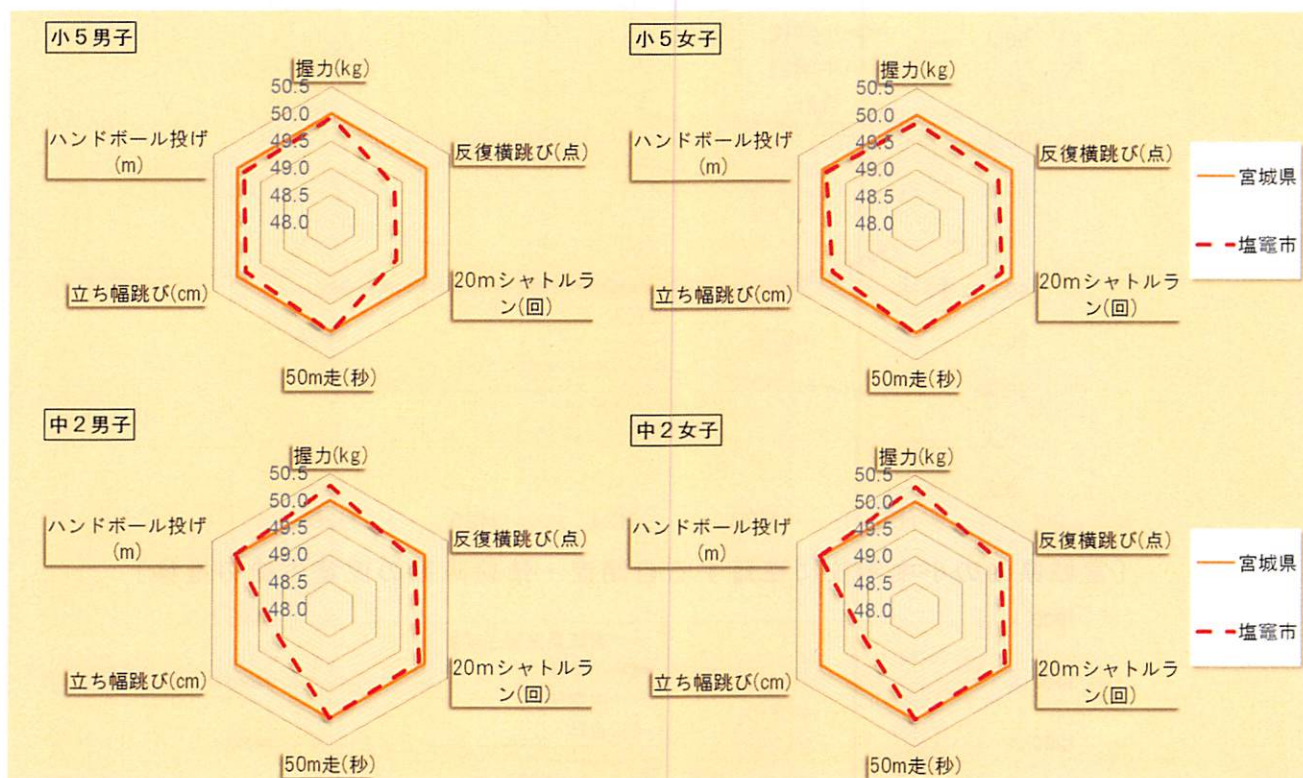
〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

○児童生徒の体力・運動能力について

- ・各種体力や運動能力調査において、塩竈市の子どもの体力・運動能力の現状は、県平均より低い傾向にある。

〔児童生徒の体力・運動能力調査結果の概要（平成26年度）〕



【議論のポイント】

学校、家庭、地域での児童生徒の体力増進への取組について議論。

(4) 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実

- ① 一人ひとりの障がいに応じ、発達段階に配慮した適切な指導及び支援に取り組みます。
- ② 小中学校へ支援員を配置し、特別支援教育の充実に努めます。

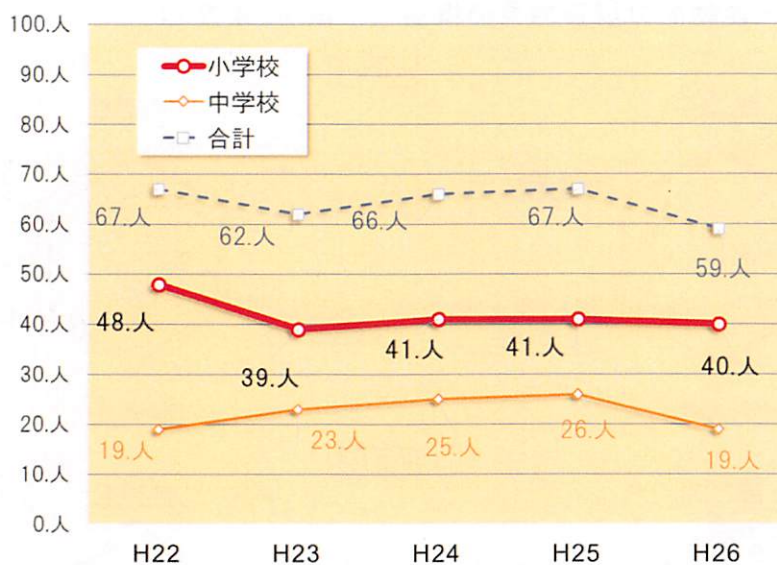
〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

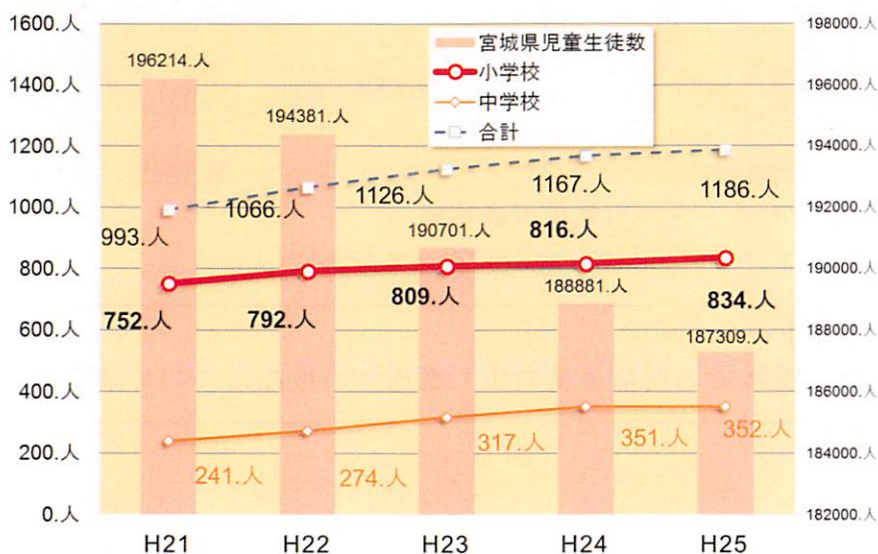
○特別支援学級の児童生徒数の状況

- ・塩竈市内の特別支援学級の児童生徒数は横ばいで推移している。
- ・県内の小中学校に在籍する自閉症・情緒障害のある児童生徒は増加傾向にある。

〔塩竈市における特別支援学級の児童生徒の推移〕



〔宮城県内の小中学校に在籍する自閉症・情緒障害の児童生徒の推移〕



【議論のポイント】

一人ひとりに応じた特別支援教育のあり方とインクルーシブ教育(障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み)について議論。

(5) 食育の推進

- ① 家庭と一緒に「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣の定着を図り、笑顔あふれる楽しい学校づくりに取り組みます。
- ② 安全・安心な学校給食を提供するとともに、「塩竈」ならではの「おいしさ」あふれる食文化（地産地消）の活用に取り組みます。
- ③ 多様な献立の実施や楽しく食べる環境づくりなどを行い、給食内容の充実に努めます。

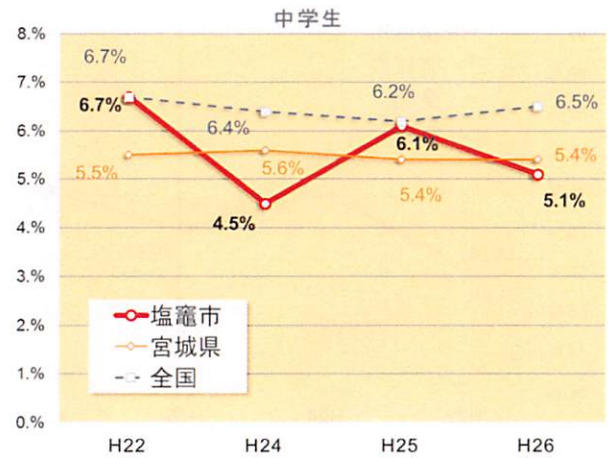
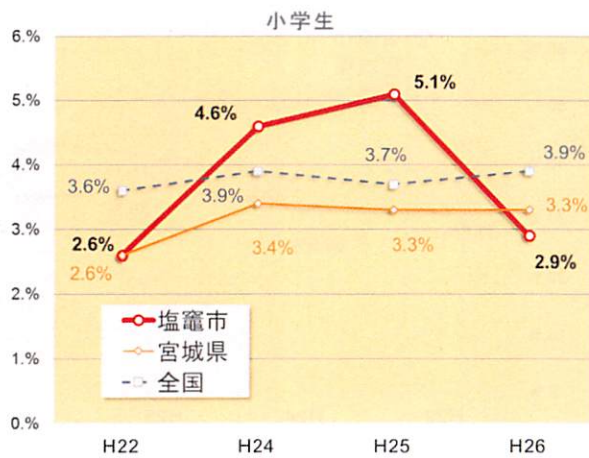
〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

○基本的な生活習慣について

- ・朝食を食べない児童生徒の割合は H26 で全国・県平均を下回った。

〔朝食を食べない児童生徒（小6・中3）の割合の推移〕



(出典) 全国学力・学習状況調査 (文部科学省)

【議論のポイント】

- ・ 基本的な生活習慣「早寝、早起き、朝ごはん」の定着に向けての家庭・学校の役割や給食をはじめとする食育の推進について議論。

〔6〕 歴史、文化の尊重と国際理解を育む教育の推進

- ① 地域との連携を強め、社会体験や自然体験などの体験活動を通して、「塩竈」の歴史や文化と触れ合う機会の創出に取り組みます。
- ② 外国語指導助手の活用を図り、外国語教育と国際理解教育を推進します。
- ③ 児童生徒が地域行事や祭りに積極的に参加できるように努めます。

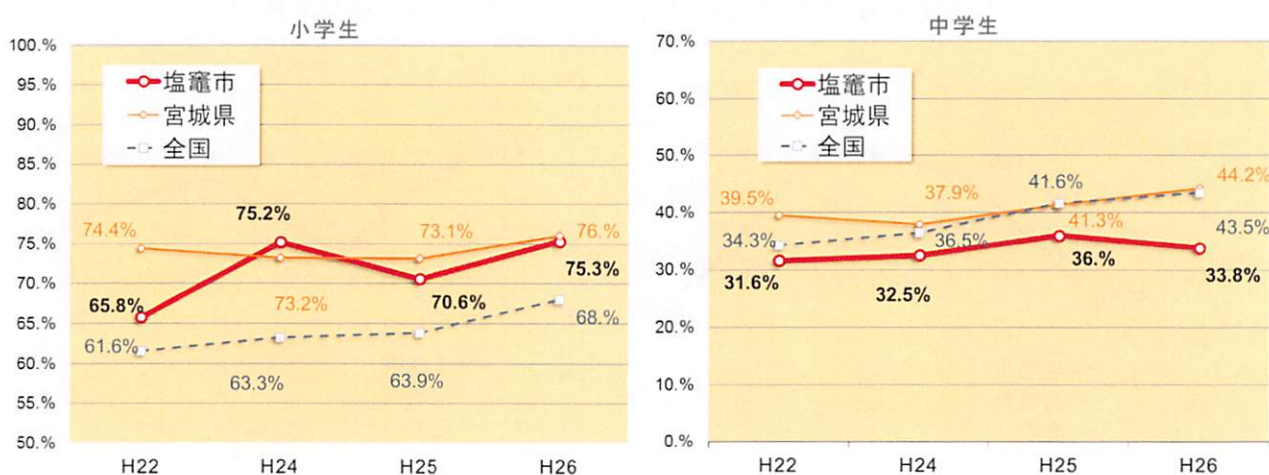
〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

○ 地域行事への参加状況

- ・ 小学生では地域行事に積極的に参加している児童の割合は全国を上回っているが、中学生になると、全国を下回る結果となっている。

〔地域の行事に積極的に参加している児童生徒（小6・中3）の割合の推移〕



（出典）全国学力・学習状況調査（文部科学省）※H23は震災の影響で未実施。

〔長期総合計画で示された今後の方向性〕 ⇒ 小中学生の参加率を高める。

〔小中学校総合的な学習の時間推進事業（H26実績）〕

学校名	内容
第一小学校	国際交流活動、塩竈環境探検隊、ふるさとPR隊 等
第二小学校	「環境問題に取り組もう」、「塩竈じまん」等
第三小学校	手作りかまぼこ、1/2成人式、防災教育等
月見ヶ丘小学校	「塩竈の産業に触れよう」、「ふるさと塩竈再発見」等
杉の入小学校	地域の産業・文化、1/2成人式等
玉川小学校	「優しい街玉川」、「伝統の継承、先人の思い」等
第一中学校	塩竈の文化・伝統、環境、産業の学習等
第二中学校	地域学習、立志発表会、職場体験等
第三中学校	地域人材による体験学習、赤ちゃんふれあい体験等
玉川小学校	「塩竈再発見」、職場体験、立志式等
浦戸小中学校	演劇活動、浦戸合宿、牡蠣むき体験等



今年から「よしこの塩籠コンテスト」に参加した浦戸小中学校

【議論のポイント】

「塩籠」の歴史や文化と触れ合う授業の取組について議論。

(7) 生命の大切さを学ぶ教育の推進

- ① さまざまな体験活動などを通して、自分を大切にする心を育むことに努めます。
- ② 命のつながりを気付かせ、他人を認め、互いに尊重し合う生き方を育むことに努めます。

〔長期総合計画の施策の体系〕

○中・高校生の夏休み保育体験学習

【事業内容】

市内在住・在学の中・高校生に「生命の尊さ」や「子育ての喜びと難しさ」などを啓発することで、将来、親となるための自覚や思いやりの心を養うことを目的に実施している。

【参加者】 H24：37名、H25：39名、H26：40名



○中学生と赤ちゃんふれあい交流事業

【参加者】 一中・二中・三中・玉中の436名（H26）

【中学生の声】

「自分も、こうだったんだと懐かしさを感じた。貴重な一つひとつの命とふれあえた。」

「産む前の苦労があったからこそ、子育てがますます楽しく幸せな時間を感じるだろうな。親に感謝したいと改めて思いました。」

【議論のポイント】

生命の大切さを学ぶ教育の推進に向けて、学校、家庭での取組について議論。

(8) 特色ある学校づくり

- ① 併設・特認校である浦戸第二小学校や浦戸中学校をはじめ、一人ひとりの子どもの個に応じた特色ある教育を推進します。

〔長期総合計画の施策の体系〕

○小中一貫校による浦戸小中学校がスタート

【事業内容】

文部科学省から教育課程特例校の認可を受けH27.4月から独自の教育課程「浦戸科」が新設。児童生徒は9年間、体験型の学習等を通じて、島の自然、文化、伝統等を学びます。



【議論のポイント】

特色ある学校づくりに向けて、学校での取組について議論。

第2節 学習環境の充実

(1) 学校施設の整備・充実

- ① 学校施設の良好な環境の維持に努めます。
- ② 安全・安心な学校給食を提供するため、計画的に給食施設の整備を図ります。

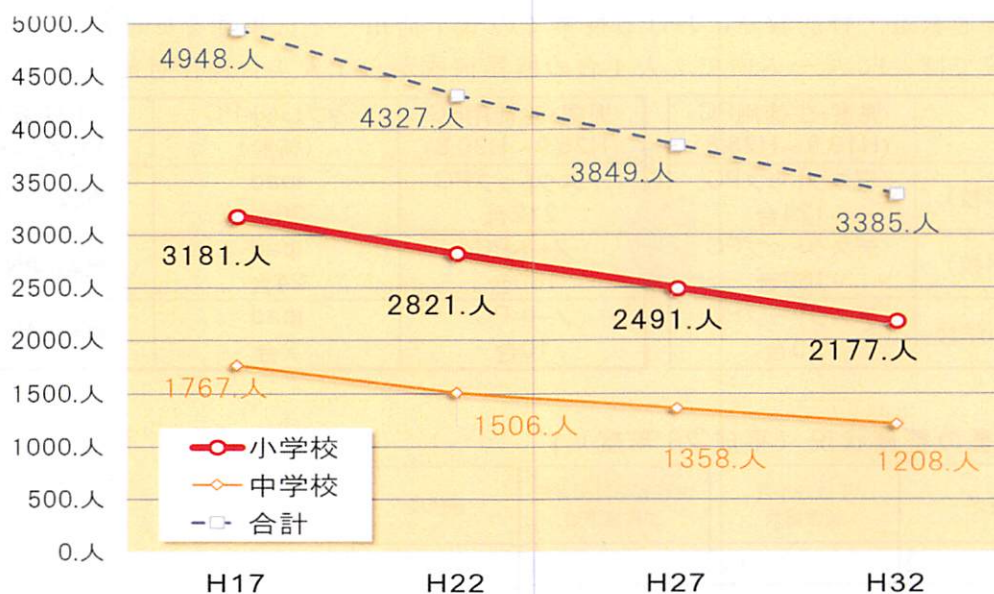
〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

○学校施設の環境維持について

- ・小中学校の児童生徒は、10年後に現在の7割程度まで減少し、児童生徒の減少に伴い学級数が減少するなど、学校の小規模化の進行が懸念される。
- ・学校施設は老朽化が進んでいることから、計画的な整備が必要である。

〔小・中学校における児童生徒数の推移（実績・推計）〕



(出典) 学校基本調査 (文部科学省)

〔小・中学校校舎の建築年数等について〕

学校名	建築年度	建築年数	備考
第一小学校	昭和41年	49年	H18: 耐震改修実施
第二小学校	昭和42年	48年	H18: 耐震改修実施
第三小学校	昭和40年	50年	H17: 耐震改修実施、H25・26: 大規模改造事業実施
月見ヶ丘小学校	昭和40年	50年	H19: 耐震改修実施
杉の入小学校	昭和53年	37年	H21: 耐震改修実施
玉川小学校	昭和34年	56年	H17: 耐震改修実施、H19: 大規模改造事業実施
第一中学校	昭和53年	37年	H21: 耐震改修実施
第二中学校	昭和48年	42年	H21: 耐震改修実施
第三中学校	昭和43年	47年	H19: 耐震改修実施
玉川小学校	昭和53年	37年	H21: 耐震改修実施
浦戸小中学校	昭和63年	27年	

※次回整備予定校：月見ヶ丘小学校

○給食施設の整備について（これまでの取組）

- ・H21年度 学校給食衛生管理基準の改正。衛生管理の根本的な改善が求められる
- ・H22年度 有識者を交えた「塩竈市学校給食あり方懇談会」の設置
- ・H24年度 「塩竈市学校給食運営プラン研修会」の設置
- ・H25年度 「塩竈市学校給食運営プラン」を策定。プランでは新たな給食施設はセンター方式を目指すとしている

（２）学校設備の充実

① ICT（情報通信技術）教育、環境教育、国際理解教育などの多様化する学習に対応するため、設備や備品などの充実を図ります。

〔長期総合計画の施策の体系〕

[PC等の導入状況]

- ・H25年度に機器整備を行い、ノートPC・タブレットPCの導入、無線環境の導入により、普通教室・特別教室における授業でのICT活用へと汎用性を広げた。
- ・小学校では、PCルーム内で2人1台の機器構成から1人1台操作可能な環境となった

	児童・生徒用PC (H19.9~H25.8)	児童・生徒用PC (H25.9~H30.8)	タブレットPC (新設)	LAN構成 (PC室内新設)
小学校(6校)	デスクトップPC 124台	デスクトップPC 212台	ipad 36台	有線LAN構成
中学校(4校)	デスクトップPC 160台	ノートPC 160台	ipad 24台	無線LAN構成
浦戸小中学校	デスクトップPC 10台	ノートPC 10台	ipad 2台	無線LAN構成

[学校図書の整備状況（平成26年度）]

学校名	平成26年度 蔵書冊数	文科省学校図書館 図書標準値	達成度
第一小学校	10,058	9,160	109.8%
第二小学校	16,331	11,360	143.8%
第三小学校	15,177	9,960	152.4%
月見ヶ丘小学校	10,980	8,760	125.3%
杉の入小学校	11,439	10,360	110.4%
玉川小学校	7,853	8,360	93.9%
浦戸第二小学校	4,650	4,040	115.1%
小学校計	76,488		
第一中学校	12,163	12,160	100.0%
第二中学校	11,742	10,720	109.5%
第三中学校	10,783	10,160	106.1%
玉川中学校	12,194	12,160	100.3%
浦戸中学校	5,751	5,440	105.7%
中学校計	52,633		
小中学校計	129,121		

※目標値として「学校図書館図書標準」の90%以上を目指す。

※H26年度において、全学校が目標値を達成した。

【議論のポイント】

今後必要と考えられる学校施設、設備の充実について議論。

(1) 地域との協力体制の構築

- ① 自立した社会人を目指すため、経済界などと連携し、職業や働くことの大切さを学ぶ機会の充実を図ります。
- ② 児童・生徒の安全確保や学校環境の維持を図るため、地域の支援体制づくりに取り組みます。

〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

○地域で支える総合的な学習（P8参照）

- ・総合的な学習の時間では職業体験や地域の歴史文化に触れ合う学習を展開している。
- ・中学生においては、社会に役立つと思う割合が全国、県より高い。

〔総合的な学習の時間で学習したことは、社会に出たときに役に立つと思いますか〕

		そう思う・どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	その他
小学校	塩竈市	83.9%	12.2%	3.8%	
	宮城県	84.2%	12.1%	3.7%	
	全国	85.0%	11.7%	3.1%	0.2%
中学校	塩竈市	74.7%	17.4%	7.7%	
	宮城県	72.5%	20.2%	7.3%	
	全国	71.2%	20.7%	7.8%	0.2%

（出典）全国学力・学習状況調査（H26・文部科学省）

(2) 学校情報提供の双方向性の確立

- ① 開かれた学校づくりのため、学校評議員制度の充実を図るとともに、各種だよりやホームページを通じて家庭・地域への積極的な教育情報の発信に取り組みます。
- ② 児童生徒の安全を図るため、地域と双方向に情報を交換できる体制の構築に取り組みます。

〔長期総合計画の施策の体系〕

○子ども安全サポーターの活動

市では、地域の方々に「子ども安全サポーター」として登録していただき、子どもたちの登下校時の安心・安全確保のための見守り活動をお願いします。

【主な活動】

- ・学校周辺の通学路での子どもたちの見守り
- ・交通指導



【議論のポイント】

地域全体で教育、子育てを支えていく学校づくりについて議論。